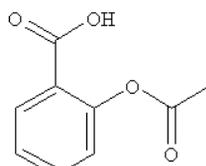
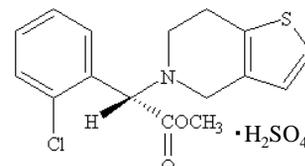


## 構造式



Aspirin



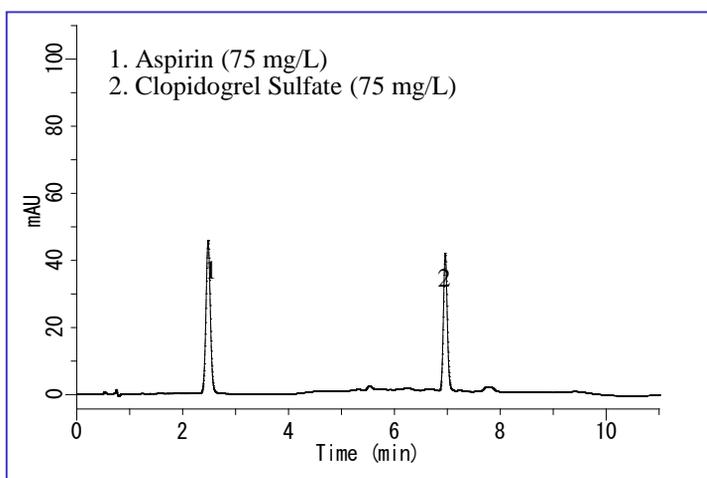
Clopidogrel Sulfate

Structures are created using Chemistry 4-D Draw which is provided by ChemInnovation Software, Inc.

クロピドグレルは抗血小板薬の一つで、心筋梗塞や脳梗塞などの血栓症の治療に用いられています。一方、解熱鎮痛剤として有名なアスピリンも低用量用いることで抗血小板薬効果があります。

数種類の化合物を組み合わせ、1つの薬中に配合した医薬品を合剤(配合剤)と呼びます。組み合わせによっては効果を高めたり、副作用を抑えるなどの効果が得られるものもあります。アスピリンとクロピドグレルも合剤の有用性や安全性などについて様々な研究がされています。今回、Inertsil ODS-4を用いて良好に同時分析可能でしたのでご紹介いたします。

## 標準液 測定例

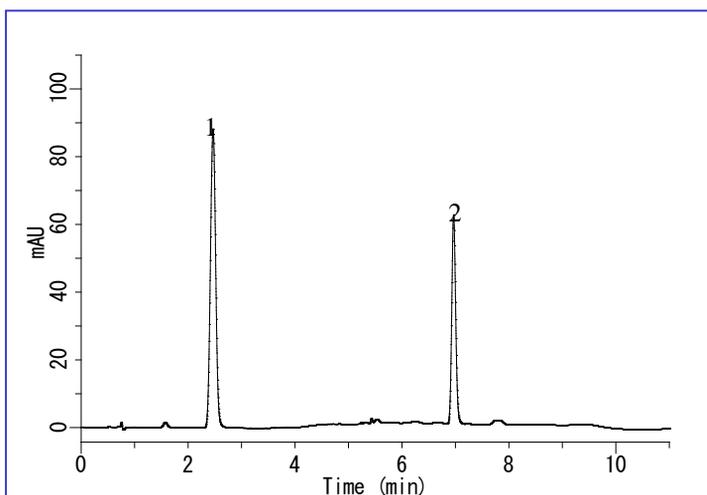


## HPLC条件

分析カラム	: Inertsil ODS-4 HP (3 μm, 50 x 4.6 mm I.D.)
カラムCat. No.	: 5020-14068
溶離液	: A) CH <sub>3</sub> CN B) 20 mM KH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> (pH 3.0, H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub> ) A/B = 25/75 -2.5 min- 25/75 -1.5 min- 70/30 -4 min- 70/30 -1 min- 25/75 -3 min- 25/75, v/v
流量	: 1.0 mL/min
カラム温度	: 25 °C
検出	: UV 240 nm
注入量	: 5 μL

## 錠剤 測定例

アスピリン(アセチルサリチル酸)として150 mg/L、クロピドグレルとして75 mg/L相当となるように調製しました。



## 錠剤前処理例

## 試料

- 錠剤をすり潰して粉末にする
- 1錠相等を秤量する

## 抽出

- 希釈液\*\*を加える
- 超音波抽出
- 100 mLに希釈液で定容

## ろ過

- 0.45 μmフィルター

## 希釈

- 希釈液を用いてAspirin 150 mg/L, Clopidogrel 75 mg/L相当となるように希釈

## HPLC

\*\* 希釈液: CH<sub>3</sub>CN/H<sub>2</sub>O = 50/50, v/v

ジーエルサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 30F  
TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622  
<https://www.gls.co.jp>

カスタマーサポートセンターでは、ノウハウのご提供と分析に関するフォローを行なっております。お困りの際には、カスタマーサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター (土・日・祝除く9:00-17:00)  
TEL.04-2934-1100 E-mail:info@glsc.co.jp

データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、当社が責任をおうものではありません。また、記載事項につきましては、予告無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。※各試験法は、変更される場合がありますので、分析の前に確認されることをお勧めします。